**日本分析化学会　表示・起源分析技術研究懇談会**

**2019年度　第一回　運営委員会　議事録**

**日時**2019年 8月 8日（金） 11:00〜13:00

**会場**東京電機大学東京千住キャンパス　１号館２階　1206室

**出席者**　　安井明美，阿部善也,　岩田祐子, 鈴木忠直, 鈴木彌生子, 八田珠郎,

　　　　原口浩幸, 平野哲, 保倉明子, 山越昭弘, 吉田尚弘, 社藤悦子

**欠席者**  伊藤勇二, 力石嘉人, 伊永隆史, 高橋文人,等々力節子, 山田桂太

**議題**

2019年度　第一回運営委員会議事録を、表１に示す。

表1. 2019年度第一回運営委員会議事及び配布資料

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | 議題 | 報告者 | 資料No. |
| 1 | H30年度　第二回運営委員会　議事録 | 事務局 | １ |
| 2 | H30年度(H30.3.1～H31.2.28)会計報告 | 事務局 | ２，３,４ |
| 3 | 2019年度(2019.3.1～)会計中間報告　　 | 事務局 | ５，６ |
| 4 | 2019年度(2019.3.1～)会員動向　 | 事務局 | ７，８ |
| 5 | 第20回／ジョイント講演会（H31.1.25, 東京電機大学）の報告 | 事務局 | ９，１０,１１，１２ |
| 6 | 第21回講演会（H31.8.8, 東京電機大学）, 参加申込者数　 | 事務局 | １３，１４ |
| 7 | 第68年会(9/11～13；千葉大学西千葉キャンパス)について | 事務局 | １５ |
| 8 | 第22回講演会について（調整状況など/鈴木彌生子氏） | 山越氏 |  |
| 9 | 第23回講演会の企画について　 | 阿部氏 | １６ |
| 10 | 研究懇談会規約更新について | 鈴木氏 | １７，１８，１９ |
| 11 | その他 |  |  |

各詳細は、後述の通り。（番号. は、議題No.　に対応）

1. 資料にてH30年度第二回運営委員会の議事録を確認した。以下3か所の訂正があった。

（訂正1） p.1/出席者中に原口浩幸氏の名前が記されているが、欠席者に入れる。

（訂正2） p.3/ 誤「フードフォーラムつくば」→正「フードフォラム・つくば」

（訂正3） p.3/ 誤「配布」→正「配付」

表2. H30年度 第二回運営委員会議事及び配布資料

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No. | 議題 | 報告者 |
| 1 | H30年度　第一回運営委員会　議事録 | 事務局 |
| 2 | H30年度(H30.3.1～)会計中間報告 | 事務局 |
| 3 | H30年度(H30.3.1～H31.2.28)収支報告（案） | 事務局 |
| 4 | 2019年度(’19.3.1～’20.2.29)予算案 | 事務局 |
| 5 | 2019年度(’19.3.1～’20.2.29)事業計画 | 事務局 |
| 6 | H30年度(H30.3.1～)会員動向 | 事務局 |
| 7 | 第19回講演会（H30.8.3, 東京電機大学）の報告　 | 山越氏 |
| 8 | 第67年会（H30.9.12～14, 東北大学川内北キャンパス）の報告 | 阿部氏 |
| 9 | 第20回／ジョイント講演会（H31.1.25, 東京電機大学）, 参加申込者数 | 鈴木氏 |
| 10 | 第21回講演会の企画について |  |
| 11 | 運営委員メンバー |  |
| 12 | その他 |  |

1. H30年度（2018年度）の会計収支を、預金口座、現金の出納帳にて確認し、2018年度収支報告書にて全体の収支を確認した。また、収支報告書を本部へ提出したことを報告。→繰越残高として2,685,651円あるので、これを有効活用するための案を検討することで合意。
2. 2019年度の会計収支（中間報告）を、出納帳にて確認した。
3. 個人会員は、1名入会、7名退会で、全58名となった。団体会員は、1団体が退会し、15団体となったことを資料にて確認した。
4. 資料を参照し、保倉氏、鈴木彌生子氏より報告。→2019年1月25日の午前中/ジョイント講演会（環境分析研究懇談会、レアメタル分析研究懇談会共催）、午後/本懇談会単独での第20回講演会が行われ、参加者人数は、ジョイント講演会では26名、第20回講演会では53名であった。また、第20回講演会企業展示に参加した企業リストを確認した。食品化学学会　共催のジョイント講演会の実行委員長だった山越氏がその会で縁のあった企業を、第20回講演会実行委員長、鈴木彌生子氏に紹介したことで、企業展示の運びとなった。また、収支報告を会計監査の山越氏から報告。収支にほぼ差はなく、収支残高は9,650円となった。
5. 実行委員長の鈴木彌生子氏より、資料にて、プログラムと参加申込者数を確認した。→1ヶ月前の案内周知だったが、27名の参加申込があった。食品以外の情報提供を目的とした会ということで、岩田氏に講演を依頼した(題目：大麻のキャラクタリゼーションの検討)。三島氏（神戸工業試験場）の題目（イオン付着イオン化質量分析法）は、伊永氏のところで鈴木彌生子氏も研究されていた内容とも関連している。神戸工業試験場は株式会社で、委託分析も行っている。
6. 保倉氏より、本懇談会からは、9月11日/高橋嘉夫先生「同位体比・科学種を用いたエアロゾル中の重金属の起源解析」の講演が予定されていることが報告された。
7. 第22回講演会について、鈴木彌生子氏から、フードフォラム・つくばとの共催の提案があり、以下の内容で承認された。鈴木彌生子氏による口頭にての説明。→第18回講演会（H29年開催/会場：フクラシア八重洲）の際のアンケートにて、食品添加物についての要望があった。食品表示の積み残し課題として、食品添加物の他にもゲノム編集、栄養成分表示もあり、それらの情報共有を目的とする。ジャーナリストの小島氏（農研機構）を進行役とし、伊藤氏からの紹介にて、森田満樹氏 (消費生活コンサルタント、FOOCOM.NET)、阿南久氏 （一般社団法人 消費者市民社会をつくる会 代表理事）、合瀬宏毅氏 （ＮＨＫ解説副委員長）、山崎氏を演者として依頼予定。開催時期については、食品添加物表示制度に関する検討会が１１月頃に終了予定のため、11月～12月上旬で調整中。場所は、日程が決まり次第、フードフォラム・つくばの事務局が調整する。また、消費者庁の表示担当者からの基調講演が可能かどうか、伊藤氏により現在調整中だが、表示担当者が代わられたタイミングとなるため、これはキャンセルの可能性もある。
8. 第23回講演会について、鈴木彌生子氏より提案があった。以下、口頭にての説明。→フードフォラム・つくばセーフティ分科会との共催、ゲノム編集の情報としての企画。なるべく技術的な面で情報提供したい。時期は、来年(2020年)1月。会場は、通常はつくばだが、東京での開催が望まれている。
9. 資料にて、改訂された新規約と、当規約が本部により承認されたことを確認した。安井氏より、内規として以下の内容を記載することが提案され、承認された。「・参与の任務について・運営委員の任期を2年とすること・会費2年間未納者は退会扱いとすること。」後日、内規の原案を事務局にて作成し、運営委員会にて承認を得ることとなった。
10. ・有山氏に運営委員の就任を依頼することで了承した。

　・安井氏より→書籍「食品表示を裏付ける分析技術」の中国版が、昨年11月に現地で出版

　　された。東京電機大学出版と現地の出版局の間にエージェントが入り、正式に出版され

　　た。

　・保倉氏より→第69年会は、名古屋工業大学にて行われる予定。推薦は5月ごろ。

　・社藤より→事務局のPCが購入から6年以上経過し古くなってきたので新しくすること、

　　及び早急にバックアップの対策をとることを相談し、了承された。

　・次回の運営委員会は、1月~2月(1月の講演会の会場が東京電機大学になれば、その講

　　演会と同日)に開催することで了承した。（候補日は1月24日頃）